

山形県委託事業

令和7年度

障がい者歯科研修会

2026年 3月7日

(土) 14:00

ハイブリッド

是非、多数会場で
受講ください。

会場：山形県歯科医師会館・Web

受講対象：山形県歯科医師会会員、スタッフ、障がい者福祉関連団体・
施設関係者・ご家族等※歯科関連職以外の方も是非ご参加ください。

【講演1】 発達障害の基礎と臨床について

～日常診療のために～

講師 鶴岡協立病院附属クリニック

所長 石川 充 先生



【講演2】 山形県の障がい者歯科医療の現状

～アンケートとヒアリングを通して～

厚生労働省歯科医療提供体制構築推進・支援事業

講師 山形県立こども医療療育センター

歯科医長 田中 朋子 先生



【申込方法・締切】

受講希望の方は、右記二次元コードまたは山形県歯科医師会
ホームページより 2月24日(火) までお申し込みください。



【日程】

13:50 Web配信開始
14:00 趣旨説明・講師紹介
14:10 講演1 (質疑応答)
16:10 講演2 (質疑応答)
16:40 終了

主催・問合先：一般社団法人山形県歯科医師会
〒990-0031 山形市十日町2-4-35
TEL 023-632-8020 FAX 023-631-7477
<https://www.keishi.org/>



抄録

【講演1】 発達障害の基礎と臨床について～日常診療のために～

鶴岡協立病院附属クリニック（小児科） 所長 石川 充

鶴岡で診療を始めてはや32年になりますが、この間に多くの神経発達症（発達障がい）のお子さんたちとの出会いがありました。それぞれが自分の置かれた環境の中で、自分なりの表現の仕方です生活をしていましたが、保育園や幼稚園、そして学校で周囲とうまく折り合いがつかず、本来持っている個性をうまく発揮できないでいました。そのような状況の中で、家庭でも対応に困っている親御さんの声を聞くにつれ、お子さんたちだけではなく、関わる全ての人の困り感を無くしたいと思うようになりました。困ったことをそのままにして、達成感を得られないままに自己評価が下がることがあってはいけません。

いつも思うことは、目の前にある「困り感は何か」ということでした。それぞれの困り感に早く気づくことで、最初の一歩が始まります。

実臨床の場においては、対応困難な事例もありますが、それぞれの発達障がいの特性を理解した上で、本人及び保護者の気持ちに寄り添いながら対応して頂ければと思います。

ご参加の皆様の日常診療のお役に立てることを願っております。

略歴 茨城県水戸市出身

山形大学医学部卒

職歴 国立岡山病院小児医療センター

国立精神神経センター武蔵病院 小児神経科

鶴岡協立病院小児科

鶴岡協立病院附属クリニック小児科

所属学会 日本小児科学会、日本小児神経学会、日本小児心身医学会

日本専門医機構認定 小児科専門医

コンサータ・ビバンプセ処方登録医

身体障害者福祉法15条指定医

自立支援医療（育成医療）認定審査嘱託医

鶴岡養護学校学校医

指定障害児通所支援事業 株式会社メグシィ顧問医師

著書 「本人参加型会議」で不登校は改善する！（分担執筆）

がんばっているのに伸び悩む子への処方箋

がんばっている親と支援者へ贈る ポジティブになれる子育て術（分担執筆）

【講演2】 山形県の障がい者歯科医療の現状 ～アンケートとヒアリングを通して～

厚生労働省歯科医療提供体制構築推進・支援事業

山形県立こども医療療育センター 歯科医長 田中 朋子

この度、厚生労働省による令和7年度歯科医療提供体制構築推進・支援事業として、山形大学歯科口腔外科が、山形県内の障害者歯科医療体制の構築を目的に本事業を実施した。この事業の一つとして、県内の歯科医療機関を対象に、障害者歯科医療の実施状況、対応上の課題、病診連携体制の現状などに関するアンケート調査を行った。その結果、障害者歯科医療への対応経験には施設間の差が認められ、人的・設備的制約や、多職種・専門機関との連携が課題として挙げられた。一方で、研修機会の充実や紹介体制の整備についてのニーズが高いことも明らかとなった。山形県におけるこれまでの取り組みの成果と今回の結果を踏まえ、山形県における持続可能な障害者歯科医療体制の在り方について地域全体で引き続き検討していきたい。